

発表日：平成 29 年 6 月 9 日

平成 29 年 6 月 9 日

報道関係者 各位

Medical × Engineering

公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団
医師のキャリアパスを考える医学生の手
課題解決型高度医療人材養成プログラム
放射線災害の全時相に対応できる人材養成

～最先端技術にふれる～

放射線医学オープンスクール 開催・参加募集

「放射線医学オープンスクール」は、全国から集まった医療に関心のある学生が放射線医学の最先端の現場を見学し、なんだか放射線医学って楽しそう！と興味をもつきっかけ、そして日本の放射線医学がこれからどのように発展すべきなのかを、自分なりに考えてみる機会を提供する、1泊2日の見学研修プログラムです。

- 【 日程 】 平成 29 年 8 月 29 日（火）～30 日（水）1 泊 2 日
- 【見学先】 [株式会社日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット](#) 日立高精度放射線治療研修センター
[筑波大学附属病院](#)
- 【 内容 】 講義・見学・特別講演・懇親会（詳細は公式サイトより）
- 【特別講演】 Particle Therapy in Asia: Current and Future Developments
講師 Hsiang-Kuang Tony Liang (梁祥光), B.S. (Physics), M.D.
National Taiwan University
- 【 対象 】 医療系および理工系の大学生・大学院生
- 【 主催 】 公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団
- 【公式サイト】 http://www.antm.or.jp/04_talent/03.html (下記 QR コードより)

[公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団](#)

がん等の疾病に対する放射線による診断・治療等に関する研究の支援、人材育成や普及活動および線量校正等の放射線治療施設の品質管理支援事業を行っています。

[医師のキャリアパスを考える医学生の手](#)

会員数：国内外 90 大学、約 1,700 名
医学生自身が自らのキャリアについて学び、考え、発信するネットワークです。



見学の様子

[放射線災害の全時相に対応できる人材養成 \(https://ramsep.md.tsukuba.ac.jp/\)](https://ramsep.md.tsukuba.ac.jp/)

筑波大学は、文部科学省 課題解決型医療人材養成プログラムに、「放射線災害の全時相に対応できる人材養成 (H28 年度～H32 年度)」の事業名で採択されています。放射線災害には、災害発生直後の緊急被ばく医療から、復興期の継続的な放射線に対する健康管理まで、各災害時相に対応する人材が必要となります。本事業は、この分野を担う医療人を養成するため、「学類（部）教育、卒業生涯教育（履修証明制度）、大学院教育」の 3 つの柱で構成されています。

——— < 本件お問い合わせ先 > ———

公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団 <http://www.antm.or.jp/>

住所：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 ニッケイビル 5 階

E-mail：ops@antm.or.jp TEL：03-5645-2230 FAX：03-3660-0200

